

ただいま知事を囲んでの市長、町長の固い握手をしていただいておりますが、会場の皆様、恐れ入りますが、盛大なる拍手をお願いいたします。

それでは、続きまして行政関係者の方どうぞ。

本日、この記念すべき日に香川県の報道関係者の方たち全員お集まりをいただいております。ご協力をお願いいたします。

ありがとうございます。

はい、どうもありがとうございました。

続きまして、1市2町の議長、恐れ入りますが、中央へお進みいただきたいと思います。

今度は知事を囲んで市長、町長、議長の固い握手により合併協定調印を記念するとともに、その証を確実なものにさせていただくために握手をお願いいたします。

観音寺市、大野原町、豊浜町の合併による新しい観音寺市の誕生に向けまして、今堅い握手を交わしていただきたいと思います。皆様どうぞ今一度大きな拍手をお願いいたします。

〔知事を囲んでの市長、町長、議長の握手〕

司会 報道関係者の皆様、まずテレビ報道関係者の皆様、どうぞお撮りいただきたいと思います。新聞報道関係者の皆様、よろしいでしょうか。行政関係者の皆様、よろしいでしょうか。

ただいま固い握手をしていただきました。どうもありがとうございます。

それでは、皆様、会場のお席にお戻りいただきたいと思います。

ご来賓の皆様、報道関係者の皆様のご協力をいただきまして、署名、調印、滞りなく終えることができました。

それでは、主催者を代表いたしまして、合併協議会会長でございます平野清大野原町長からごあいさつを申し上げます。

〔主催者あいさつ〕

平野大野原町長 合併協議会会長を仰せつかっております大野原町長の平野でございます。

観音寺市・大野原町・豊浜町の合併協定調印式に当たりまして、観音寺市、大野原町、豊浜町並びに合併協議会を代表いたしまして一言ごあいさつを申し上げます。

先ほど、私と観音寺市長、豊浜町長によりまして合併協定書に署名をさせていただきました。

した。

合併協議会委員であります観音寺市議会議長と大野原町議会議長、豊浜町議会議長に合併協議会委員を代表して立会人署名としてお願いを申し上げたところ、快くお引き受けをいただき、ご署名をいただきましたこと、心から感謝申し上げる次第でございます。

また、本日は香川県知事真鍋武紀様には特別立会人としてご署名をいただきましたこと心からお礼を申し上げます。

今後は、各市町におきましては、3月議会を開催し、廃置分合に関する議案など、合併関連議案を提出させていただき、ご承認をいただきますと、香川県知事のところに合併申請をさせていただく予定となります。

香川県知事、香川県議会議長、国会議員、地元選出県議会議員、観音寺市議会議員、大野原町議会議員、豊浜町議会議員、1市2町合併協議会委員、監査委員並びに本日出席の皆様方には、公私とも大変お忙しい中ご臨席をいただきまして、このように調印式が盛大に開催できましたこと、心から厚くお礼を申し上げる次第でございます。

さて、振り返りますと、この三豊地域での合併問題は、平成12年11月に1市9町の合併に向けた住民発議による合併協議会設置の直接請求がなされました。結果は3町の議会で可決されませんでした。その後、平成14年10月1日、1市5町で法定合併協議会を設置いたしました。残念ながら翌年10月23日豊中町、山本町、財田町が脱会いたしました。その後、平成16年4月1日に観音寺市、大野原町、豊浜町による法定合併協議会を設置して以来、相互の信頼と尊重の精神を堅持しつつ、11回の協議会が開催され、この間協議会委員の皆様には熱心なご協議を賜り、おかげさまで先ほどめでたく歴史的合併協定調印を終えることができましたことを、皆様方と共に、心から喜びを分かち合いたいと存じます。あらためて心から敬意と感謝を申し上げます。

平成の大合併の背景には、厳しい財政状況、少子高齢化社会の進行、地方分権の推進、地方自治の推進、住民の日常生活圏の拡大が上げられています。国や県の財政と同様に、市町の財政事情は年々厳しくなっています。長引く景気の低迷で税収が減少、国からの地方交付税も大幅に削減をされ始めました。一方、少子高齢化や環境問題への対応の経費は、年々増えてきています。その様な中で、現在の行政サービスを維持していくことは困難になってきました。

昭和の大合併から50年、社会のあらゆる分野にわたりシステムの再検討が必要です。そして、社会のシステムの変化にも対応していかなければなりません。今こそ長期の視点

に立って合併を考え、観音寺市、大野原町、豊浜町の自然、地理的条件や経済的・文化的関連を考慮し、新市の建設、財政計画についてしっかりとした目標を持ち、合併を考えていく必要があると思います。

お年寄りやかわいい子供や孫のためにも市町合併は避けて通れません。このような変革の時代にあって、観音寺市、大野原町、豊浜町は自然環境、行政課題など、さまざまな問題が共通しております。一体となってこれらの行政課題に的確に対応し、将来に向けて、福祉の充実した安心して住めるまちづくりを達成しなければなりません。

また、昨年は過去においても例を見ないほどの甚大な被害を受けましたが、今後の防災対策につきましても、地域の条件に的確に対応して防災体制の充実強化を図り、安全なまちづくりを進めてまいります。

歴史と伝統に輝き、先人たちの偉大な英知と努力によって築いてこられた観音寺市、大野原町、豊浜町も合併後、新生観音寺市として、更に行財政改革を進め、時代に合った行政運営に努め、住民の皆様と新しい観音寺市を創造していきたいと考えております。

本日の調印式を新たな出発の日として、1市2町がさらに協力し合って、本年10月1日の新しい「観音寺市」誕生に向けて努力してまいりたいと存じます。

また、新市の将来像であります「海・山・川そして人が織りなす『新・田園都市』かんおんじ」の建設を目指して準備を進めてまいりますので、引き続きご列席の皆様方並びに1市2町の住民の皆様方の今後一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げます。本日はどうもありがとうございました。

司会 続きまして、本日合併協定調印式の特別立会人をお願いいたしました香川県知事真鍋武紀様からご祝辞を賜りたいと存じます。

〔 来 賓 祝 辞 〕

真鍋香川県知事 祝辞。観音寺市、大野原町、豊浜町合併協定の調印、誠におめでとうございます。心からお喜びを申し上げます。

将来の発展を願って、困難を乗り越えてこられた市長さん、町長さん、議員の皆様のご尽力を初め住民の皆様のご理解とご協力を心からたたえますとともに、今日の日を迎えた喜びを皆様とともに分かち合うことができますことを大変うれしく思います。

今日、地方自治体は少子・高齢化の進行や三位一体改革を初め地方分権の進展などにより、大きな変革と試練の時を迎えております。このため、行財政基盤を強化し、自立性の